




「地域コミュニティ形成事業」の取組について

幌延町では、いつまでも暮らし続けられる持続的な地域集落形成のため、問寒別地区において「地域コミュニティ形成事業」を進めています。

今年度は、地域の目指す将来像「地域づくりビジョン」の策定を進めており、その一環として、地域の新しい可能性を探る住民懇談会「といかん本音トーク」を開催し、地域発信の「やってみたいこと」や「夢」などの実現に向け2つのプロジェクトが進行中です。

<p>プロジェクト① にぎわいの場・集いの場「といかん・みんなの市」を開催しよう!</p>	<p>地域産品、手工芸品などを持ちこんで販売したり、地域内外から気軽に集まれるにぎわいの場、集いの場があったらいいなあ…。</p> <p>まずは空きスペースを活用し「といかん・みんなの市」を開催してみようとチャレンジしています。</p>	
<p>プロジェクト② 共同農園「といかん果樹園」を作ろう!</p>	<p>生きがい・仲間づくり、観光PR、プチビジネスなどをごちゃまぜにした「共同農園（果樹園）」をやってみたいなあ…。</p> <p>地域内を視察し、植える場所、モノ、運営方法などを検討しています。採れた果樹を「といかん・みんなの市」で販売できたらなあ…と夢が広がっています。</p>	

また、地域住民自らが地域を運営する「地域運営」の形を学ぶ視察研修を実施し、住民と役場職員など11人が参加しました。

<p>○視察先：芽室町上美生「みんなのお店KAMIBI」 NPO法人上美生 理事 蘆田 千秋 様</p> <p>○視察日：令和4年10月4日～5日</p> <p>○内容：人口500人弱の上美生地区では、中学校閉校の危機から山村留学を導入し移住者が増加。地域において10年後の地域を考えるアンケート調査の意見などを反映し将来ビジョンを定め、優先順位を付けて地域交通や除雪などの地域活動に取り組んでいた中、地域唯一のお店の閉店危機に際し、地域住民自らが「みんなのお店KAMIBI」を運営するため、NPO法人上美生を設立。NPO法人は、単なるお店の運営ではなく、地域交通や誰でも集える居場所づくりなど地域課題を解決することで地域づくりに貢献する活動を続けている。</p> <p>地域らしさとは何なのかを絶えず意識し、仲間や地域と想いを共有し、人の輪を少しずつ広げておられるご様子に参加者一同深く感銘を受けました。</p> <p>○参加者様のご意見ご感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問寒別にも若い人がたくさん移住できるように移住環境整備が大切だね。 ・山村留学も地域によい効果があるのでは…。 ・地域に気軽に集まれる拠点が欲しい。 	 <p>「みんなのお店KAMIBI」で蘆田様から取組などのご説明</p>
---	---

地域コミュニティ形成事業の詳細については、町ホームページでご覧いただけます。

幌延町ホームページ QRコード



スマートフォンなどで読み取りください

～お問い合わせ先～
企画政策課 地域対策室
電話 5-1114 (226・227) 告知端末機 5-8814